「特許の怪物」も使いよう：権利行使と濫用防止を両立する戦略的知財経営

権利行使強化のメリット（肯定論）

眠る権利の対価回収



資金や交渉力の不足で引き延ばされていた不当な侵害に対し対価を実現する。

専門事業者への移転

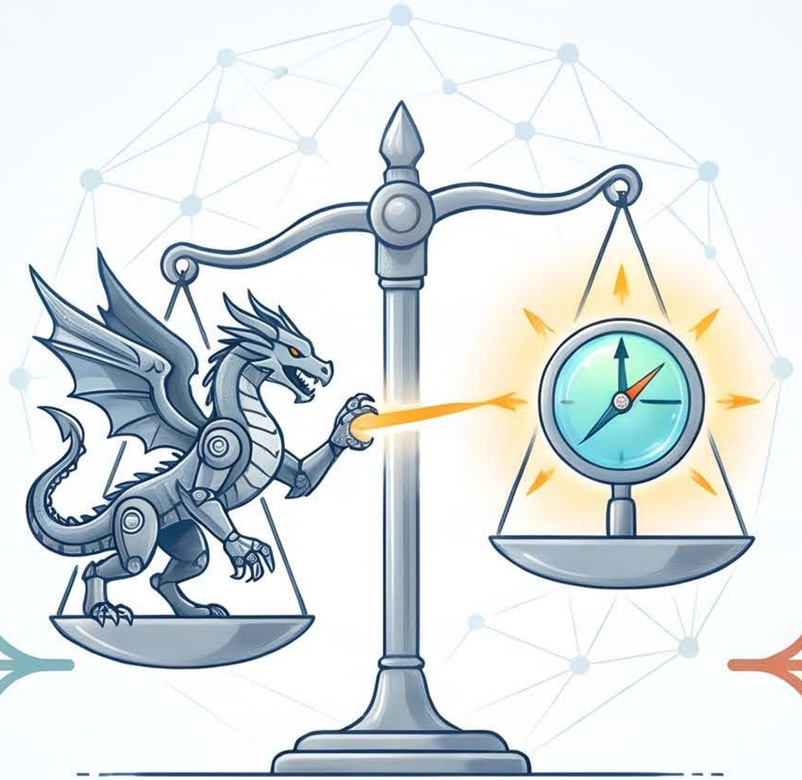


特許移転は必ずしも紛争を増やすわけではなく適切な権利評価に繋がる。

撤退後技術の価値回復



事業縮小や撤退後も生み出された技術自体の価値を回収する手段となる。



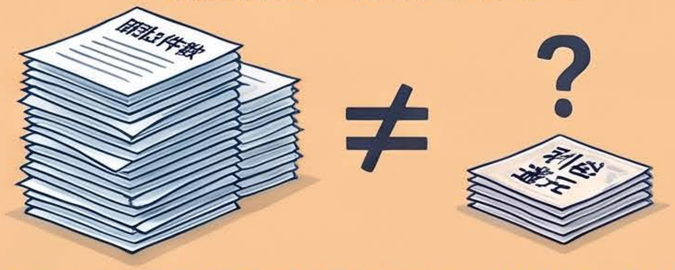
権利行使強化の懸念点と経営管理（慎重論と実践）

訴訟負担に乗じる要求



技術的貢献とは無関係に相手の訴訟回避費用を狙う請求を警戒すべき。

訴訟件数＝成功ではない



件数や回収額は活動量に過ぎず産業競争力向上には利益還元の検証が必要。

外部事業者の行動管理



提訴・和解の決定権や還元利益を他社任せにせず経営判断として統制する。

権利行使の強化に伴うメリットとリスクの構造的比較

論点	権利行使強化を支持する議論	慎重・反対の議論
交渉力	差止めの可能性が支払回避を防ぐ	差止めを背景とした過大要求の発生
外部資金	小規模権利者の行使機会を拡大	回収優先の運営による不必要な紛争化
社会的成果	発明対価が次のR&Dの誘因となる	実施企業のR&D資金や製品供給を圧迫

Gemini Notebook